

各地区業況アンケート結果（29年6月調査分）

（29年6月26日）

全国鉄鋼販売業連合会

6月23日締切で、当会役員151名に対しこのアンケートを行ったところ77名の回答があり（回答率51.0%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. 売上数量、金額ともDI値プラス続く

問1】貴社の5月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	17	4	29	20	7	77	57
比率	22%	5%	38%	26%	9%	DI+5	DI+4
売上金額/前年同月比	19	8	28	15	7	77	57
比率	25%	10%	36%	20%	9%	DI+22	DI+12

2. 黒字5割強

問2】貴社の5月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	14	25	24	9	5	77	57
比率	18%	33%	31%	12%	6%	DI+44	DI+38

3. 建設向け未だ少なく、自動車向けがやや増へ

問3】貴社の営業窓口から見て6月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		13	28	13	3	57	-10	-34
民間建設向		23	28	11	2	64	-25	-25
自動車向	1	11	25	3		41	+20	±0
その他需要家向	1	19	39	7		68	+15	-18
仲間取引		10	35	14		61	-28	-28
計	2	76	155	48	10	291	+4	-18
比率	1%	26%	53%	17%	3%			

4. 第2四半期に向け期待感高まる

問4】貴社における向う7月から9月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	7	45	21	2	1	76	54
比率	9%	59%	28%	3%	1%	DI +72	DI +46

5. 条鋼関連の需給緩む

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	品種別	A	B	C	D	E		6月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
-28	-32	-27	-30	-24	-38	-28	-19	-26	-21	-28	-17	鉄筋用丸鋼			21	7	1	29	-31
-23	-15	-15	-15	-14	-17	-11	-5	-3	-11	-7	-8	構造用丸鋼			24	4		28	-14
-21	-11	-12	-8	-3	-8	-7	-5	-3	-7	-7	-7	平角鋼		1	29	5		35	-11
-16	-9	9	4	16	26	58	38	26	21	7	4	H形鋼		2	23	8		33	-18
-38	-19	-14	0	4	0	18	0	-23	-4	0	-5	コラム			21	4		25	-16
-19	-10	-8	-10	-10	7	6	2	-6	-3	-3	-7	小形山形鋼		2	31	6		39	-10
-22	-17	-18	-16	-10	7	11	7	-6	-12	-6	-10	中形山形鋼			28	10		38	-26
-29	-18	-24	-7	-10	3	15	10	3	-12	-9	-10	溝形鋼			29	9		38	-24
-36	-22	-19	-19	-14	-13	-11	-9	-20	-15	-11	-4	軽量形鋼C形		2	22	6	1	31	-19
-33	-17	-28	-22	-20	-20	-20	-12	-19	-10	-9	0	軽量形鋼広巾		1	19	1	1	22	-9
-55	-43	-44	-33	-23	-15	4	36	32	39	28	17	冷延薄板	1	4	24	3		32	9
-40	-35	-29	-20	-19	-6	-3	21	22	16	17	0	熱延薄板		5	28	4		37	3
-50	-53	-34	-27	-22	-7	26	62	42	58	56	30	表面処理鋼板		9	25	3		37	16
-48	-48	-29	-27	-22	-18	33	100	89	85	57	52	酸洗鋼板		11	23			34	32
-30	-23	-22	-24	-23	-9	3	30	38	23	14	0	中板		2	31	7		40	-13
-16	-21	-20	-24	-23	-6	-5	18	16	10	-3	-6	厚板		3	28	6		37	-8
-11	-4	0	-13	-5	-7	-11	25	22	5	-6	-6	極厚板			13	3		16	-19
-11	-21	-17	-14	-11	-8	-14	-11	-11	3	-7	0	縞板		2	27	2	1	32	-6
-28	-26	-24	-22	-23	-20	-15	-16	-18	-23	-6	-19	中径角		1	30	7		38	-16
-33	-26	-17	-12	-17	-16	-15	-16	-8	-12	0	-9	ガス管黒		1	32	5	1	39	-15
-23	-31	-25	-16	-15	-17	-13	-11	-12	-9	3	-9	構造用鋼管		1	31	5		37	-11
-28	-24	-20	-17	-14	-8	2	11	6	7	4	-1	計	1	47	539	105	5	697	-9

6. 荷動き悪く価格転嫁はスローダウン

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	予定した案件が少しづつ動き始めた。例年と比べ、荷動きは良い方だと思いが予想していた程ではない。今後に期待したい。鉄筋、型枠工などは人手不足により単価が上昇している。
	B	北海道の丸棒市況は高止まりしている。全国的な市況と乖離しており、市況形成に苦心している。
	C	5月は電話の鳴りも少なく、結果的に形鋼の荷動きが悪かった。しかし、5月末より小口の引合いが増え始めている。6月以降に期待している。
東北	A	第2四半期の物件見積りが増えてきているが、勢いを感じるまでには至ってない。タイト感がいまひとつで、価格面も現状維持に努めている。
	B	5月の売上金額は、ここ1年間で最低である。物件不足、販売不振は深刻である。異形棒鋼の新規成約は進まない。
	C	一次加工が少ない。市場は盛上りに欠ける。価格転嫁が進まない。
	D	丸棒の新規物件の引合い、成約はほとんどない。5月の荷動きは良かったが、契約残が減少しており、先行き不安である。
	E	少ない物件を競争しているので、単価も上らず儲けも少ない。
新潟	A	土木関連の仕事は春に少し出たが、ここへ来てなくなった。建築関連は中小物件ながら出始めてきた。
	B	春先に6月は上向きとの話が出ていたが、中旬にかけ荷動きは鈍い。電話の鳴りも少なく、細かい商いに終始している。価格転嫁も未だ道半ば。
	C	構造用鋼は値上り後も比較的堅調だが、他鋼種は軟調のまま推移している。
	D	以前の様な品薄感はなくなっている。値上げによる価格上昇分は全て転嫁できず、転嫁の勢いが弱まってしまっている。
	E	建築向けH形鋼の引合いも少なく、C形鋼、角パイプの出荷も減少している。
	F	相変わらず活況感はないが、5月は多少荷動きがあった。秋には物件が出てくると期待感はあるものの果たして現状からどれだけ変わるのか。
	G	(薄板系) 足元は不需要期にて暖房、自動車は低位だが、7月以降は季節商品、建築金物は増加してくる見込みである。(ファブの状況) Hグレード業者は直近の首都圏案件を中心に繁忙で、各社ほぼ年明けまでの仕事量は確保している。Mグレード業者は目先、小口短納期物件をこなしている状況。徐々に7～8月案件も決まってきている。一般製造業者は業種によって濃淡はあるが、総じて低位横ばいで特に土木の動きが悪い。メーカー値上げ分の価格転嫁は行動中だが、品種により実需、タイト感に差があり転嫁速度にも差が出ている。
川口	A	例年通り5月は営業日数の少ない割に極端な落込みはなかった。6月に入ると1件当りの引合いが小口化し、車の動きの割に売上金額が上らない。仕入単価の上昇に伴い在庫も安いものが一巡している。いっそうに利益率の低下を招いている。特に業種別では鉄骨関係の物件が極端に少なく売上低下に拍車をかけている。その他、公共関係はボツボツ出てきているようで今後に期待したい。
	B	自動車向けなど比較的大口が忙しい。小口の個人工場などが暇な傾向である。
神奈川	A	需要がいまひとつ盛上りに欠けている。更なる高炉の値上げに対し危惧する。

神奈川県	B	6月に入り、引合いは若干増加しているが、需給バランスは相変わらず厳しく相場は低迷している。
東京都	A	特殊鋼、構造用鋼に関して自動車関連は堅調を継続している。昨年下半年より中型から大型建機の生産が上向いている。足もと半導体関連が好調だが、自動車以外は先行き不透明である。店売り、仲間商売の引合いは弱い。製鋼メーカーほど逼迫感は見られない。
	B	冷延鋼板が入荷しにくく苦勞している。値上げも一服感があるが、転嫁すべく実行し、採算重視で動いていきたい。
	C	4～6月は鈍い動きだが、7月以降、秋に向けて前向きな案件も耳にするようになった。農業機械、建築金物、建築機械など。ただ、地域差があり、全体に浸透するには、もう少々時間を要する。
	D	年後半から首都圏の建築、土木需要がかなり出ている。5月、6月から既に始まっている。それに対し、店売り、仲間売りはここ3ヶ月低迷中でメーカー値上げの転嫁がスローダウンした。予想外に市況が上らず、好調分野も低収益で販売している。
	E	高炉メーカーの更なる値上げが実施されて需給バランスに関係なく値上げをしなければ赤字転落になってしまう。せめてメーカー値上げ分は転嫁しなければならない。
	F	店売り市場は沈黙。注文もタイト感もない。高炉の強気発表も、みな静観して、まるで身動きがとれない。高値玉を抱えながら建築需要の本格化に首を長くして待っている。
	G	メーカー値上げの転嫁が出来ず、採算が厳しい。
	H	需要は前年に比べれば、総じて上向くと予想されるが、市況動向は不透明である。
	I	需要に大きな変化はないと思われる。そのためか市況も落ち着いている。閉塞感が少し出てきて心配である。
静岡県	A	地場の建築、建設物件は非常に少なく、材料の値上げアナウンスには馬耳東風の感じである。建築以外の鋼材需要は値上げどころの話ではない。安い単価が提示され、何なんだと思わざるを得ない。土木関連は全国的に同様である。地場大手施主や重機業者とメーカー、流通にて出来上がってしまっている世界で動いている。擁壁などの新材、その他の補強工事向け鋼材は厳しい相見積り合戦である。4～6月の実需は無に等しい。大手、中堅の建築ファブは仕事に余裕があり、7～9月の状況を語る方々が多い。興信情報の内容が少なめかもしれないが、暫定的に信用不安に注意を促している。大手流通筋の話だと在庫は増加しているのではないか。実のところ、体力勝負ではないか。
	B	鉄筋価格は物件が少ないこともあり、小さな物件まで安値が散見される。仕入価格の上昇は継続しているが、盛上らず品薄感もない。価格転嫁は完全に一息ついてしまった為、利益に影響が出てきている。
	C	ユーザーに値上げ出来ないまま、下落感が出始めている。適正価格での商いはなかなか出来ない。
石川県	A	今月、県内で同業者が1社廃業した。短納期、品揃え、加工設備、低価格とあらゆる面での競争が更に激化している。経費の見通し、人材の育成、方針の確立が多面の課題である。

石川	B	中弛み状態が秋まで続くのか。関東方面から薄板類の投げ売りがちらほら存在する。鉄筋相場が弱い。指値が厳しい。ファブは業者数が少ないので、ほどよい感じの加工賃が続くだろう。鋼材価格の更なる値戻しはなかなか難しい。バス、トラックは繁忙状態が継続している。特にバスは長期に続くと思う。しかし、技能士不足のため人材供給のバランスでは売り手市場である。
富山		衣・食・住関連が増加し始めている。2020年の消費税アップを見込んでいる様子。マンション、宅地開発、食品スーパーなどの建設に予算を割く。県民性なのか。
福井		県内の公共工事は減少しているが、国（国交省）の案件は、今後の見通しでは良いのではないかと。北陸新幹線に関しては再公告になるなど入札不調が続いている。
岐阜	A	徐々に機械、設備関係は動き出している。だが、建築物件の具体案はまだ見えてこない。価格転嫁出来ていない現状は変わらない。この状態は改善されるのか？
	B	建築、建産機とも荷動きの低調な状態は変わっていない。運送経費も需要が小口化、短納期化しており、増加傾向にある。価格転嫁が難しい状態が続いている。
愛知	A	良くもなければ悪くもない。この地域は自動車の動きに左右される。現状、悪いほどではないが、いいとは言えない。国内生産が低位安定しているからであろう。自動車以外の業種も同様で斑模様である。値上げに対し、まだまだ抵抗するところもあり苦労している。
	B	半年という期間でみると集購は前年悪かったのかかなりの増であった。値上げ転嫁は終わったが、相変わらず値上げゼロの業者もあり、売上確保で値下げしたところも散見される。直近のニュースでは原料炭の価格決めが変わる。アメリカにおける自動車メーカーでは1年に1回が原則で価格が急変した場合は2回のようなようである。日本ではスポット価格を基準に4半期毎に価格を決める方式になり、事務が煩雑になったり、弱い所へしわ寄せが行くのではと懸念している。市場全体がユーザー指向になっているが、原価をよく調べて商売してもらわないと業界の衰退に繋がる。弊社では更に社員教育に力を入れていく。
	C	物件の進行が遅れぎみである。人手不足の問題がまた出てきた。
	D	鉄骨に関して大型物件はあるが、中小物件が少なく市中の荷動きは悪い。設備案件の話はまだ少ない。
大阪	A	4～6月は需要の端境期ということもあり、全般的に荷動きは冴えない。学校の耐震補強工事もほぼ一巡したという感じである。見積り、引合いともに減ってきた。戸建て住宅もここへきてややペースダウンしてきた感がある。一方で賃貸マンション（6～7階建て）の鉄骨造はそこそこ物件が動いている。従来、これらの物件はRCが多かった。本格的に需要が動き出すのは7月以降及び秋以降と思われる。
	B	不需要期のため、荷動きが悪く一部で安値も散見される。メーカーは更なる値上げ話を出しており、踏ん張り所である。
岡山	A	需要は相変わらず低調である。販売競争が激しく、価格維持が大変。明るい話は少しだけ聞こえ始めている。
	B	他県の手進出により価格が上らない。メーカー値上げを転嫁しきれていない。

香川		今期に入り、4月、5月と荷動きは低調だった。荷動きが冴えない為、価格転嫁もままならぬ状況で苦戦が続いている。6月後半から7月にかけての見積りは増えてきている状態なので荷動きが戻れば価格上昇への足がかりになるのではないかと。
北九州	A	足元の荷動きは低調で日々の引合いは少ない。仕入価格も高い玉に入れ替わり利益率も下ってきている。見積りが多少増えてきているので7月以降に期待したい。
	B	定尺、加工販売とも暇で、電話の鳴りも悪い。九州地区は需要堅調だと他地区では羨ましがられるとのことだが、どこの話という感じである。小口即納品の引合いも減少し、少しまとまれば驚く様な価格も出てくる。簿価は上ってくるだろうし、採算的に厳しい状況が続くだろう。
	C	6月に入っても、まだまだ動きは良くないが、ここへきて今まで出る出ると言われていた色々な物件が漸く動き始めている。今後を期待している。
福岡		5月度は水産加工の特別受注があり、業績は前年度より伸びたが全体的な動きは昨年とあまり変わらない。特に活発な業種は自動車、半導体である。多品種、少量受注ではあるが、年内までは忙しい状況である。信用問題については、今のところ大きな倒産情報はないが、仲間と情報交換しながらやっていきたいと思う。